

いろいろ火の里 

みかわ

ぞかい



安全で安心して暮らせるまちへ	3月定例会	P2~3
生命と暮らしを守ることを最優先	令和4年度主な事業	P4~5
一般会計予算に修正案	予算審査特別委員会	P6~7
根拠不明朗な予算を否決	審議の解説	P8
ジェンダー平等への取り組みは	一般質問	P9~15
厳しい米情勢をチャンスに	シリーズ⑤ 「がんばってます」	P16

No.157
3月議会
2022.
4.15

第1回議会定例会は3月8日から15日までの会期で開会しました。

町長より「施政方針」、教育委員会・農業委員会から「行政方針」が示され、諸般報告2件の後、令和3年度の補正予算9件、令和4年度一般会計、特別会計予算合わせて6件、一般会計予算に対する修正案1件、条例6件、人事案件3件が上程され可決されました。
一般質問は6人の議員が町政全般について質問しました。

専決処分(補正予算)

○子育て世帯への臨時特別給付事業費補助金
6400万円を追加

○住民税非課税世帯等に
対する臨時特別給付金
補助金6390万円を
追加

○除雪対策費3009万
3000円を追加

補正予算

問 除雪車の稼働時間、
オペレーターの確保は、

建設環境課長 雪の多い
昨年で1台150時間、
今冬は大雪、風雪による
吹山の除去等で270〜
280時間です。
オペレーターの人材不

足には苦慮していますが
確保に努めます。

問 除雪後の対応は。

建設環境課長 担当職員
によるパトロールで道路
周辺部の破損を確認し修
復し、個人の内容には話
し合いで対処します。

問 農地への融雪剤に対
する助成制度は。

産業振興課長 融雪剤に
対し県の助成は、積雪1
m40cmで三川町の状況は
1m弱なので対象にはな
りません。

問 小学校の工事請負費
は。

教育課長 横山小学校の
特別教室への空調設備を
設置するものです。

問 個人町民税の増額要
因は。

町民課長 当初予算では、
新型コロナウイルスの影
響で減収すると予測しま
したが想定より所得が多
かったためです。

問 学校給食費の消耗品
費の増額要因は。

教育課長 新型コロナウイルス
の影で休業、学
年閉鎖で給食用の生鮮食
品は不使用となり、保護
者の負担を避けるため町
が対応することとしまし
た。

条例等

○三川町と山形県との間
の行政不服審査法第81
条第1項に規定する機
関の権限に属させられ
た事項を処理する事務
の委託に関する規約の
制定について

○三川町情報公開・個人
情報保護・行政不服審
査会条例の全部を改正
する条例の設定につい
て

○三川町情報公開条例等
の一部を改正する条例
の設定について



三川町の雪捨て場

町民が安全で安心して



ポンプの性能検査

○三川町職員の勤務時間、
休暇等に関する条例の
一部を改正する条例の
制定について

○教育委員会委員の任命
佐藤 桂子氏(横山上)

人事案件

○三川町職員の育児休業
等に関する条例の一部
を改正する条例の制定
について

○固定資産評価審査委員
会委員の選任
佐藤 英之氏(天神堂)

○三川町消防団条例の一
部を改正する条例の制
定について

○人権擁護委員候補者の
推薦
佐藤 由一氏(土口)

○三川町消防団条例の一
部を改正する条例の制
定について

○人権擁護委員候補者の
推薦
佐藤 功夫氏(天神堂)

3月定例会の議決状況

○は賛成、×は反対、議長は賛否に加わらない。

議 案	議 席 番 号								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	議 員 名								
	小野寺正樹	志田徳久	小林茂吉	佐久間千佳	砂田 茂	鈴木淳士	鈴木重行	成田光雄	町野昌弘
議第1号 令和3年度三川町一般会計補正予算(第5号)の専決処分の承認について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第2号 令和3年度三川町一般会計補正予算(第6号)の専決処分の承認について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第3号 令和3年度三川町一般会計補正予算(第7号)の専決処分の承認について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第4号 令和3年度三川町一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	×	○	○	○
議第5号 令和3年度三川町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第6号 令和3年度三川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第7号 令和3年度三川町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第8号 令和3年度三川町農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第9号 令和3年度三川町下水道事業特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度三川町一般会計予算の修正案	×	×	○	○	○	○	×	○	○
議第10号 令和4年度三川町一般会計予算の修正部分を除く原案	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第11号 令和4年度三川町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第12号 令和4年度三川町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第13号 令和4年度三川町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第14号 令和4年度三川町農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第15号 令和4年度三川町下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第16号 三川町情報公開・個人情報保護・行政不服審査会条例の全部を改正する条例の設定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第17号 三川町情報公開条例等の一部を改正する条例の設定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第18号 三川町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第19号 三川町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第20号 三川町消防団条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第21号 三川町と山形県との間の行政不服審査法第81条第1項に規定する機関の権限に属させられた事項を処理する事務の委託に関する規約の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○

を守ることを最優先

令和4年度一般会計予算を可決

※各項目の主な事業を抜粋

いつまでも健康で 安心して暮らせるまち

- 寿賀敬老事業…長寿祝金等の贈呈等 159万円
- 高齢者就業機会確保事業…
シルバー人材センターに対する支援 258万円
- 公共施設等長寿命化対策事業…東郷小学校プール改修等 1980万円
- 常備消防事務委託事業…常備消防事務の鶴岡市への委託 2億178万円



将来にわたって 活躍できる人を育むまち

- 母子保健事業…産前・産後の妊産婦に対する支援等 891万円
- 外国語活動推進事業…英語指導員の配置 951万円
- 小学校・中学校教育振興費・教育機器等整備事業…学習機材・情報教育機器等の整備 (GIGAスクール構想の実現) 3213万円
- 学童保育支援事業…利用料補助による保護者負担の軽減等 2496万円



%は構成比 () 内は前年比較 千円以下は省略して表記

労働費 0.1%



423万円
(↑2千円)

民生費 27.9%



13億9073万円
(↑1億5896万円)

議会費 1.4%



6821万円
(-64万円)

農林水産業費 12.6%



6億3049万円
(↑2億5058万円)

衛生費 5.4%



2億7000万円
(-5億5909万円)

総務費 13.4%



6億6717万円
(-3887万円)

町民の生命と暮らし

総額49億8000万円

未来に向かって継続し 発展するまち

- 道路舗装事業…交通量が多く舗装路面の損傷が多い路線の計画的な舗装改修整備
2500万円
- 地域公共交通推進事業…デマンドタクシーの運行
501万円
- 雨水対策推進事業…雨水排水の現況を調査し、必要に応じて雨水排水施設の整備を実施する
5115万円
- 廃棄物処理事業…廃棄物処理業務の委託等
1億3336万円



町道改修整備

創造力にあふれ 豊かさを実感できるまち

- 新農業所得構造改革推進事業…土づくり支援等
949万円
- 地域農業担い手育成推進事務…人・農地プランの作成等
2012万円
- 「いろり火の里」推進事業…「いろり火の里」施設の大規模改修と機能強化に向けた施設整備の整備改修
5410万円
- 移住定住促進事業…町外からの移住のための住宅取得に対する支援
250万円



土壌改良剤を散布し土づくり

公債費 8.8%



4億3728万円
(-575万円)

消防費 4.8%



2億3842万円
(↑896万円)

商工費 8.1%



4億406万円
(-1829万円)

災害復旧費

2万円 (±0円)

予備費 0.2%
1000万円 (±0円)

教育費 8.7%



4億3277万円
(-3754万円)

土木費 8.6%



4億2737万円
(-1649万円)

対策と経済支援 修正案 可決!!



佐久間 千佳 委員長

予算審査特別委員会を3月8日に設置し、委員長に佐久間千佳委員、副委員長に鈴木淳士委員を選出しました。

3月11日、14日の2日間、令和4年度予算案を審査し、可決しました。

コロナからの回復傾向見込む

総務課長 昨年より高い価格で予算化しましたが、それよりも高騰していますので場合によっては補正予算で対応します。

問 町税を前年度比1・6%増とする

要因は。

町民課長 前年度予算は、新型コロナウイルス感染症の影響で収入減と見込まれましたが、実際には影響が少なく前年度決算見込み等を考慮し計上しました。

原油高騰の影響は

志田 徳久 委員

問 町所有の車両が多くありますが、社会情勢により原油価格が高騰しています。その対応は。

問 おいしいお米給食支援でJA・有機栽培協議会の協力は。

産業振興課長補佐 学校給食でははえぬきの2等米を基本としています。JA庄内たがわ三川支所と差額を折半し、1等米とするものです。また、つや姫を有機栽培協議会より安価で提供していただいています。

教育振興策は

小林 茂吉 委員

問 「読み・書き・そろばん」という誇れる庶民教育を振興し、青少年の芸術文化に親しむ意識の高揚をどう高めていくのか。

教育長 脈々と引き継がれてきた普遍的な日本の文化を授業に取り入



子ども達に好評な有機つや姫給食

れ、心に響く教育を進めてまいります。

問 高齢者の生活は、年金がマクロ経済スライドで実質削減され、生活困難が広がると見ま

す。保険料値上げ改定を説明できる資料の開示は、必要な機会を捉えて、後期高齢者広

町民課長 域連合と調整を図りながら、資料を提供することは可能と考えております。

アメシロ対策の強化を

小野寺 正樹 委員

問 河川敷のアメシロ発生に伴う対策は。

建設課長 アメシロの発生状況を確認し、関係機関と連携を取りながら対応し、防除時期を早めたり薬剤等の増量を検討します。

問 農村環境改善センターの工事請負費の内容は。

農センター長 緊急性の高い男女和式トイレから洋式トイレへの工事に660万円の予算で、国からの支援を受けコロナ感染リスクの低い洋式化への工事です。



令和4年度
予算審査

新型コロナウイルス感染防止
一般会計予算に

Pick up

修正案が提出された
「し尿・浄化槽汚泥等投入施設
基本計画策定業務負担金」への
主な質疑

問 「し尿・浄化槽汚泥等投入施設基本計画策定業務負担金（18万6千円）」の支払先と内容は。

建設環境課長 鶴岡市へ支払うもので、し尿及び浄化槽汚泥などをどのように処理すべきか、またどのような施設が必要かの計画を策定するための応分の負担を求められたものです。

問 廃棄物の処理だけを業務委託している三川町の立場でありながら、鶴岡市が策定する「基本計画」の経費を負担することは、どのような根拠によるものか。

建設環境課長 令和3年3月26日に締結した協定書

に「基本計画」に係る負担も網羅されていると考えています。

問 業務委託に関する協定書の中に当該

基本計画に関する負担金が含まれているとのことですが、その部分の文言を開示願いたい。

建設環境課長 手元に持ち合わせがないため明示できませんが、事務委託算定要領の施設整備について均等割と搬出量割が定めてあります。

問 明確な答弁が得られませんが、後ほど確認させていただきます。

修正案については8ページに掲載しています。

修学旅行の
コロナ対応は

鈴木 淳士委員

問 小学校費、中学校費に「修学旅行取

消料補助金」が計上されていますが、まだ中止と決まったわけでもない段階において当初予算に計上した理由は。

教育課長 修学旅行の実施予定時期は5月から6月が多く、もし中止となった場合、6月議会定例会に間に合わないことが予想されるため、事前に計上しました。

県道の
地吹雪対策を

鈴木 重行委員

問 令和3年産米の概算金下落に加え、

原油高における燃料・肥料高騰の影響を受ける農家に対する支援は。

産業振興課長 コロナ禍の長期化による主食用米の需給緩和への対策として、大豆の種子購入助成により土地利用型作物への取り組みを支援します。

また、原油価格の高騰により肥料・資材が値上がりしており、農作物の品質低下が懸念されるため土づくり支援として肥料高騰分の一部を支援します。

問 今冬、地吹雪によって通行止めとなった県道があり、通勤通学に支障をきたしましたが対策は。

建設環境課長 例年になく地吹雪により各所で通行止めが発生し、住民への影響は多大なものだったと考えています。

大雪により除雪が追いつかない場合もあり、県と連携を取りながら住民生活に支障の無いよう適切な対応をとりたいと考えています。

ゴミ減量化の
取り組みを

町野 昌弘委員

問 ごみの排出量が少ない自治体の調査、要因分析は。

建設環境課長 具体的な場所は決まっていますが、県内または近県で参考となる自治体を探し、調査を考えています。

問 地域や個人が減量化のモチベーション維持に繋がる、効果を数値化する予定は。

建設環境課長 数値化する手法にありますが、何が出来るか今後考えていきます。



否決

根拠不明朗な 予算の一部を

令和4年度 一般会計 予算

3月11日と14日に行われた予算審査特別委員会に
続く15日の本会議において、町当局から提案された
当初予算案のうち鶴岡市が実施する「し尿・浄化槽汚
泥等投入施設基本計画策定業務負担金118万6千
円」を削減すべきという「修正案」が可決されました。
その問題点と議会議経過程等を解説いたします。

現在の廃棄物処理につい 定書」を締結し、円滑に展
ては、地方自治法で認めら 開されているところです。
れている「事務の委任」制 こうしたなか、今回問題
度を適用して、鶴岡市議会 になった予算は、鶴岡市に
と三川町議会の議決を経た 対する「し尿・浄化槽汚泥
「規約」を定め、費用負担 等投入施設基本計画策定業
の方法などを両市町で「協 務負担金」(下表参照)で

3月14日の予算審査特別委員会への 修正案提案理由

鈴木 淳士 委員

① 塵埃処理費の「し尿・浄化槽汚泥等投入施設基本計画策定業務負担金」については、次のことから本町で負担すべき明確な根拠が確認できない点があります。

② 令和3年3月に三川町廃棄物処理基本計画が公表済みであり、当該予算は「鶴岡市」の事務であると考えられること。

③ 鶴岡市との一般廃棄物に関する「規約」には、鶴岡市の施設で処理可能な範囲内の一般廃棄物の処理と記載されていること。

④ 規約の内容を変更する場合は、両市町の議決を経ること。以上のことから、適正な予算計上に基づく適確な行政運営を求めるところであり、野放図に予算計上することは町の姿勢が問われることから、毅然とした対応を求めするために、不本意ながら修正案を提案せざるを得ないものです。

令和4年度一般会計予算 (抜粋)

10	需用費	1,523	1	廃棄物処理事業	134,547
				消耗品費	(185)
				燃料費	(783)
				修繕料	(555)
				証紙等購入手数料	(4)
				作業手数料	(36)
				検査手数料	(14)
				自動車損害保険料	(30)
				ごみ運搬処理業務委託料	(8,542)
				廃棄物処理業務委託料	(51,787)
				一般廃棄物焼却施設整備事業負担金	(71,382)
				し尿・浄化槽汚泥等投入施設基本 計画策定業務負担金	(1,186)
				自動車重量税	(43)
11	役員費	84			
12	委託料	60,329			
18	負担金補助及び交付金	72,568			
26	公課費	43			

太字の項目が削除されました。

したが、三川町がこの業務に対して費用負担すべき根拠を、十分確認できませんでした。

この結果、14日の予算審査特別委員会へ提出された「修正案」は、賛成5人、反対3人で可決された経緯にあります。

なお、翌日15日に開かれた本会議においては、町当局からの予算案に対する賛成討論もありましたが、採決の結果、修正案に対する賛成が6人、反対が3人で採択され、一般会計予算が一部修正されました。

※予算審査特別委員会では、議長と委員長を除く8人で採決されました。

3月15日の一般会計予算に 対する本会議における 賛成討論

鈴木 重行 議員

小野寺 正樹 議員

修正案が出された「し尿・浄化槽汚泥等投入施設基本計画策定業務負担金」については委託先である鶴岡市での基本計画策定によるものというものでした。金額は未確定な部分もある様ですが、委託という関係性は今後も継続されるものと考えますので、足並みをそろえて、当初予算に計上されるのは理解するところではあります。計画の進捗について、議会への説明を求めるとともに、負担割合については下水道の普及率、接続率を加味したうえで精査、協議いたいただくことを強く望みます。

金額は未確定な部分もある様ですが、委託という関係性は今後も継続されるものと考えますので、足並みをそろえて、当初予算に計上されるのは理解するところではあります。計画の進捗について、議会への説明を求めるとともに、負担割合については下水道の普及率、接続率を加味したうえで精査、協議いたいただくことを強く望みます。また、鶴岡市とのこれまでの構築された関係に不信感を抱かせないよう、町民の生活に負担のかからないよう賛成します。

町政を問う

一般質問

3月定例会



議会ホームページは
こちらから
(音声配信中)

一般質問とは…

町政に関して議員が質問を行い、新たな政策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

3月8日と10日に6人の議員が以下の項目について質問しました。
●の内容を掲載しています。

砂田 茂 議員 (10ページ)

- 新型コロナウイルス感染症対策について
- ジェンダー平等について
- 自衛隊との関わり方について

鈴木 重行 議員 (11ページ)

- 令和4年度施政方針について
- 高齢者へのデジタル支援を
- ふるさと応援寄付金について

小野寺 正樹 議員 (12ページ)

- 三川町と遠渡隊長との今後の結びつきについて
- 人材育成・確保の戦略について

志田 徳久 議員 (13ページ)

- 教育行政は
- 子育てについて
- 企画行政は
- 建設環境行政は

鈴木 淳士 議員 (14ページ)

- 土地利用の推進と民間の宅地・住宅開発の推進について
- 自然と調和した住環境の整備について

佐久間 千佳 議員 (15ページ)

- 将来の農業展望は
- 新型コロナウイルス感染症による学校の対応は

ジェンダー平等への取り組みは

町長 男女共同参画計画を促進する



すなだ 砂田 議員
しげる 茂

問 「地球上の誰一人として取り残さない」という理念のもとに「持続可能な開発目標」SDGsの5番目にジェンダー平等が掲げられています。ジェンダー平等についての考えは。

町長 「女らしさ」「男らしさ」など、社会的・文化的につくられた無意識に抱くイメージや役割分担、先入観からくる性別による差別や不平等をなくする取り組みが世界的に広がっています。

本町でもジェンダー平等社会の実現に努めます。

問 町政にジェンダー平等を反映させる取り組みは。

町長 三川町男女共同参画計画を策定し、「共に認め合い支え合い、一人ひとりがいきいきと輝くまち・三川町」を基本理念に掲げ、関連する

講座や研修会等の情報提供、事業所、各種団体に雇用機会や待遇の格差是正の要請、子育てに関する事業への夫婦での参加の呼びかけなどに取り組んでいます。

問 子どものころから性別に基づく固定観念を生じさせないことが重要と考えますが。

町長 小・中学生の学校生活でも、男女混合名簿を使用し、道徳、社会科、総合学習などで人権の尊重や男女平等に関する授業に取り組んでいます。



SDGsの5番目

自衛隊との関わり方は

問 ブルーインパルス展示飛行で、町の企画として本町出身の飛行隊長応援イベントへの子どもたちの参加に対する考え方は。

町長 「夢を持ち、達成するための努力を続けることの大切さ」を説く遠渡氏の活躍を目的に当たりにする子どもたちにも良い刺激となり、積極性や行動力が醸成されると判断し、開催しました。

問 海外での武力行使ができるように変わった自衛隊の宣伝活動への子どもたちの参加に関する考え方は。

企画調 整課長 自衛隊との関係という視点ではなく、自らの目標に対して純粋に努力を続けている遠渡隊長の姿を子どもたちに見てもらおう企画としました。



自衛隊の広報活動

町の活性化をいかに

町長 感染対策を施しながら地域経済活性化に取り組む



すずき しげあき
鈴木 重行 議員

問

コロナ禍の終息が見通せず、その対策が最優先事項と考えますが、令和4年度における町の活性化策は。

町長

新型コロナウイルス感染症による影響は、複数の変異株ウイルスの出現などにより、2年を経過した現在も、いまだ収束が見通せない状況となっています。影響が長期化するなか

新年度においても新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動の両立に引き続き最優先で取り組めます。特に、感染対策の要となるワクチンの追加接種について早期の接種完了



順調に進む3回目の集団接種

を目指し、感染拡大防止に努めます。

また、地域経済活性化のため中小企業等振興支援事業などの経済振興策に取り組みとともに、「新しい生活様式」を踏まえ

た事業活動や交流活動を推進しながら、安心と豊かさが共存する社会を目指します。

ふるさと応援

寄附金の現状は

「ふるさと応援寄附金」の実績と、

今後の見通しは。

町長

本町における寄附金額は、令和元年度の約7億2千万円をピークに減少傾向にあり、今年度においては4

億円前後になるものと推計しています。

ここ数年、寄附件数、

金額とも減少しています。本町に好意的な寄附者の方々を大切にしながら、新たな返礼品の提供に努めるとともに、寄附の窓口となるポータルサイトを複数設定するなど、より多くの方々に寄附を頂ける環境を整えたいと考えています。

問

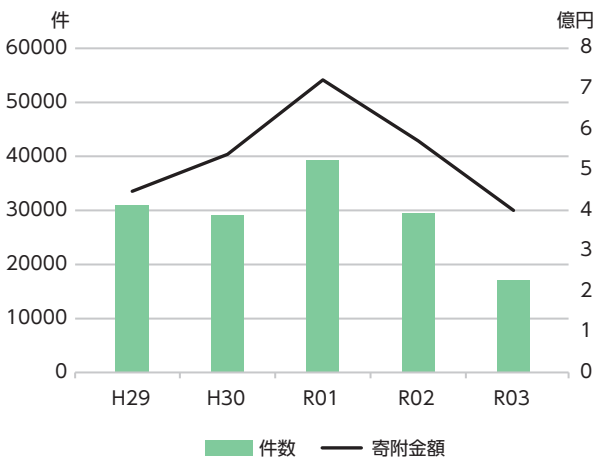
他市町では生活支援サービスや体験

型の返礼品が好調と聞きますが、本町でも導入すべきでは。

町長

本町の返礼品は地元の商品などを優先的に選定し、返礼品の提供者に対する事業説明や交流会の開催により、米のみならず果物や野菜、加工食品等多様な返礼品が提供できるようになりました。

生活支援サービス等の返礼については情報収集に努め検討します。



ふるさと応援寄附金の推移

三川町と遠渡隊長との今後の結びつきは

町長 今後とも繋がりを大切に



おの であ まさ き
小野寺 正樹 議員

問 山形県経済同友会から『2021年

明るい山形MVP賞』を受賞した際「新型コロナウイルス禍で不安な生活を強いられる時期だからこそ、この賞の意義は大きい。ブルーインパルス率いる遠渡隊長は多くの人々に感動を与えてくれた」と新聞にも大きく載っていました。

遠渡祐樹氏と今後の結びつきは。

町長 今後とも遠渡氏との繋がりを大切にするとともに益々のご活躍を期待しているところです。

問 三川町として2月に開催を予定して

いた遠渡隊長の講演会には多くの応募があったと聞いています。新型コロナウイルスの影響で中止されましたが、今後の開催計画は。

産業振興課長 時期やタイミングを見てアプローチを続けてまいります。



遠渡隊長によるラストフライト

問 三川町出身の石川禎浩氏が司馬遼太郎賞を受賞しましたが、三川町として今後の対応は。

総務課長 石川禎浩氏の受賞は町としても大変喜ばしいことであり、他に活躍されている方々同様今後も継続的な関係を構築してまいります。

町民と職員の人材育成と関わりは

問 町民の人材発掘と育成の立場から若者との繋がりは。

町長 既存の地域組織や団体が、自らの活動内容や運営方法を今一度見直し、効率的かつ有益に機能させること、そして活動の場を共にする方々が、話し合いや活動の実践を通して課題を共有し、行動に移すこと、その取り組みを繰り返すことにより人材の育成・確保が図られ、ひいては、まちづくり、地域や組織の活性化、維持・発展にも繋がるものと考えます。



職員によるリモート研修

問 職員の人材育成・資質向上についてどのような取り組みが上っているか。

町長 職員については各種行政施策、行政事務を効果的に遂行し、確かな行政サービスを提供していく必要があると考えたと共に。資質向上を図るため、階層別研修や専門分野別研修に加え、本町独自の先進地視察等研修制度を設けて、研修機会の充実に努めてまいります。

三川中学校の制服は

教育長 令和6年度から新しい制服



しだ たくひさ
志田 徳久 議員

問

学生服は毎日着用できるため経済的であり、各家庭での格差が見えにくくなるメリツトがあります。時代の変化・多様性に対応した制服が求められていると思いますが三川中学校の制服についての考えは。

教育長

昨今の制服に対する多様な考えや要望等があることに配慮し、令和4年度からブレザー型の上着とスラックス、ネクタイの男女兼用制服も選択できるように、学校が新たに指定しました。

中学校では、全ての生徒が楽しく安心して学校生活を送ることができ



令和4年度から選択できる制服

問

ように、令和6年度の新1年生からは、全員新しい制服に切り替える計画です。

新しい制服の変更について、先生や生徒にインタビュー・アンケート調査を行ったのか。

教育課長

試作品を見てもらい生徒・保護者よりの意見を取り入れたと聞いています。

ヤングケアラーについての実態調査は

問

昨年6月議会でも質問したヤングケアラーについては、福祉と連携した実態調査が必要と感ずますがその状況は。

町長

ヤングケアラーの概念や問題を子ども自身が認識できるように啓発し、教職員や民生委員など、関係機関が共通理解のもと、子どもの状況や家庭環境の把握に努め、子供自身が困っていることを気軽に相談できる体制整備が大切と考えています。

問

ヤングケアラーとは、家族のために、大人がするような家事や家族の世話などをして18歳未満の子どものことですが、本人に自覚がない状況です。埼玉県のように小学生・中学生へハンドブックを配布しては。

子育て支援主幹

自分では分からず、自分に当てはまるか解るものを配布し、周知したいと考えています。



本人の自覚がむずかしいヤングケアラー

産業団地拡張の見通しは

町長 テオトル東側の宅地造成後に実施予定



すずき じゅんし
鈴木 淳士 議員

問

国の農業水利事業完了により農地転用規制が8年間継続する中、都市計画法（都計法）に代わる農村産業導入促進法（農産法）による「みかわ産業団地」の拡張事業より先に「桜木地区住環境整備事業」を進めるとのことですが、今後の見通しは。

町長

二つの事業とも町土地開発公社に委託し、土地造成や道路整備などを町と分担して実施することから、まずは、テオトル東側の住宅開発、次に産業団地の拡張、そしてテオトル北側の順で取り組むことにしています。

問

農産法の活用により産業団地は拡張できますが、この法律では一般住宅地への農地転用が出来なくなります。横山の旧国道沿いや猪子集落周辺に一般住宅や商業施設を建設したいという申し出があった場合、

桜木地区はテオトル東側の
完売が見込める段階から北側を造成



産業団地はテオトル東側の
宅地造成完了後に拡張…

問

どのような制度で対応する考えか。
企画調整課長 桜木地区住環境整備区域内に住宅等の建設を促します。
子育て交流施設「テオトル」の北側に、子育て世帯や高齢者世帯向けの町営住宅を整備し、福祉政策と住環境整備の拡充を計画しては。
町長 平成28年度に制定した「三川町公共施設等総合管理計画」において、現在計画されているものを除き公共施設等を新設しないこととしています。

問

国では空き家跡地利用を一層推進する動きにあることから、太陽光発電施設に活用するなど、環境対策や公益性を考慮した計画を積極的に展開しては。

町長

町内に散在する特定空き家等の所有者の理解と協力を得て、対象となる事案が発生した際に、個々の案件に応じて最も適した対策を講ずる考えです。

空き家跡地利用の太陽光発電で 公益と環境対策を



集落内に設置された太陽光発電施設

将来の農業展望は

町長 強い経営体へ支援



さくま ちよし 議員
佐久間 千佳



最盛期を向かえる水稲種まき作業

問

昨今の世界情勢や感染症により、農業経営でも多大な影響を受けています。今後の支援は。

町長

ロシアによるウクライナ侵攻により、生産資材や燃料価格の更なる高騰が想定され、新型コロナウイルス感染症の影響による米価

下落と経費の高騰という厳しい状況が、農家の生産意欲の減退につながることを危惧しています。

この状況を踏まえ本町では、農業所得の向上に主眼を置いた振興策を再構築します。

問

主食用米を主軸とした経営において、今後更なる収益性の

悪化が危惧されます。稲作を基幹産業とする本町農業の将来展望は。

町長

有機・特裁のこだわり米づくりの推進、直播システムや密苗等の新手法導入による生産コストの縮減、スマート農業の支援、土づくり支援等の充実を図り、効率的で安定した強い経営体を目指す取り組みを支援します。

問

農水省が掲げる「みどりの食料システム戦略」のモデル的先進地区へ取り組むことで、有機農業、スマート農業の発展が図られるのでは。

町長

現在、国や県からの資料提供と説明を受けており、精査中です。

今後、有機米栽培団体等とも情報を共有し、関係機関等との連携で、本町により有益な形での事業実施となるよう取り組みます。

コロナ禍での学校対応は

問

対面授業とオンライン授業が受けられる「ハイブリッド型授業」について現状と課題は。

教育長

オンライン授業でも他の児童生徒と同じように臨むことができないことや、タブレットのチャット機能により積極的に発言する事ができるなどの利点も確認しています。

問

しかし、オンライン授業では、長時間の授業が困難なこと、低学年での実施が難しいこと、教師側が児童生徒の理解度を把握しづらいなどの課題があります。

オンライン授業の利点も踏まえつつ、ICT機器を活用した対面授業を基本として取り組んでいきます。



いち早く取り組んだリモート授業

がんばっています

JA庄内たがわ三川支所 特別栽培米協議会

厳しい米情勢をチャンスに



おいしい米を消費者へ

特別栽培米協議会は、その時々々の米情勢に対応し26年が過ぎようとしています。農業政策に自ら協力しそれぞれの農業経営に励んできましたが、状況は米価の大幅下落、生産資材等の高騰など経営基盤に大きな悪影響を

及ぼしています。現状を打開するには厳しい米情勢をチャンスに変える事が必須と考えます。協議会では令和4年特別栽培米で4万3千681アール282戸、また有機栽培米で2千471アール10戸の生産

計画が進められています。目的は、有機栽培米、特別栽培米の振興を図り、消費者の信頼に応えるため「安心・安全」・生産履歴の徹底、環境保全型農業の推進など地域農業の発展に寄与する事です。課題として以前から取り

組んでいるのは、消費者との交流活動です。協議会も毎年消費者との交流活動が続けて来ましたが、新型コロナウイルスの拡大によりリモート交流を余儀なくされています。交流活動を通して生産現場の状況や地域、環境問題などに対して共通認識を深め、共に農業の大切さを実感する事が必須と考えています。

164万人の会員を持つバルシシステム生活協同組合連合会との交流活動が進んでいますし、庄内地方の人情味あふれる風土、日本一恵まれた栽培環境、先祖代々受け継がれてきた大地、また地域資源循環による堆肥の施用は品質・食味向上につながり、消費者への最大のアピールポイントです。有機栽培米つや姫や特別栽培米などの供給を通して持続可能な農業経営の定着を期待しています。今後も厳しい農業経営環境は続くものと状況判断をしていますし、国も

「みどりの食料システム戦略」有機農産物の25%に拡大など積極的な取り組みを促しています。情報を的確に捉え自らも発信しこの地域の恵まれた栽培環境を最大限活用し、消費者の必要とする特別栽培米・有機栽培米生産にチャレンジ、信頼される生産地になる事で希望を持って農業経営が出来るものと信じています。

JAたがわ三川支所特別栽培米協議会
会長 菅原 誠



「春をまちわびて」
猪子保育園
(写真) 鈴木 重行

【表紙の写真】



砂田 茂

桜の開花と共に、新一年生の大きなランドセル姿が微笑ましく感じられる季節となりましたが、新型コロナウイルス感染症はオミクロン株の派生型で感染力が強いとされる「BA.2」も確認されています。長引くコロナ禍で、多くの行事等が中止や縮小となり町民の皆様と接する機会も限られています。工夫して皆様のご意見が反映される議会広報づくりに取り組んでいきたいと思っております。

編集室

(16ページまとめ 志田 徳久)

- 発行責任者 議会議長 佐藤 栄市
編集 広報常任委員会
委員長 鈴木 淳士
副委員長 志田 徳久
委員 鈴木 重行
委員 砂田 茂
委員 小野寺正樹